

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？1月はかなり寒い日が続きましたね。

外の仕事が多いので、シンまで冷え切った体を温めるために最近の入浴時間が長

くなりました。入浴剤をショウガ入りタイプの薬湯に替えたら、更に血行が良くなるのでいろいろ違うタイプを買いそろえようかと考えている堀内貢次です。ホントは入浴後に水を浴びると更に体が温まると言われているのですが、怖くて出来ないままです。

2月を何とか乗り切って少しずつ暖くなることを期待しています。

「雪の銀閣寺」

一月初めに京都の左京区の現調に行ってきました。近くに銀閣寺があったので、少し観光をしてきました。

「京都はあまり雪が降らないので、雪がかかった銀閣寺はなかなかお目にかかれない」と、タクシーの運転手さんが言うくらい京都では雪が積もるのが珍しいよ



いです。小さい写真で見えにくいですが、屋根に白く見えるのが雪です。

「マンション玄関床石の吸上げ除去施工」

今月の石材メンテナンスは、エントランス床石の裏面からの吸上げによる濡れ色現象の除去を特集します。エントランスの内部なのですが、ひさしの無い吹き抜けが2つほどあり、大雨の時には、そこから雨水が浸入するようで、目地周りを中心に額縁状に濡れ色現象が出ています。

今施工は1月で、雨も降らない日が続いて、乾燥状態が非常に良かったこともあり、結果としてはかなりの効果が表れました。施工内容としては、吸上げ現象が所々出ているので、まずは、全体洗浄を行います。この洗浄だけでも、今まで塞がれていた石の目の通気性が良くなり、石の表面が乾燥し始める箇所も出てきました。それでも濡れ色のシミがある部分には、シミ抜剤を塗布します(写真上右)。シミの原因は、雨水にモルタルが溶けだしたアルカリ水なので、自然乾燥は難しくなり、このようにシミ抜き剤を塗布し、しばらく反応

させていきます。その後、トーチを使い強制乾燥を行い、すぐに濡れ色が再発しないことを確認して、浸透性の吸収



防止剤を塗布します。十分にコート剤を吸わせた後に残ったコート剤は綺麗に拭きとり、最後にシミの出ている部分を再度、トーチを使って強制乾燥させていきます。この後に1週間位様子を見て、再発が無ければ、浸透層が出来ているので、濡れ色の再発は大分減るかと思います。



モカクリームの製品塗布(石貼前のコート塗布)

製品塗布とは、石貼前にコート処理を行うことで、石材の吸水性を抑えて、石貼後の濡れ色現象や白華を防ぐ施工のことを言います。貼る前ですと石が十分に乾燥しているので、コート剤の浸透が均一になるからです。石の表面と、小口の5面部分に塗布します。この日は天気も良くて、天日の力も借りて、施工は順調にいました。



(編集後記) お正月に合った時には、元気だった母が膝の調子が悪く、歩くことが困難になってしまい病院探しなどで1月は慌ただしく過ぎてしまいました。やはり、元気なうちから事前に対策しておかないといけませんね。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp